時事新報

鐵道の流行

日本にて鐵道論の盛なる今日の如きは古來未だ曾て有らざる所なり既成の鐵道は全國各線路を合計して其延長僅かに四百英里内外なれに目下工事中の東海道鐵道東北鐵道を加ふるも尙は一千英里に足らざるものありといへども今日既に世の起業者の目に留まり既に鐵道圖幅中に其形を現はしたる新線路は九州鐵道と云ひ山陽鐵道と云ひ大和鐵道と云ひ四日市鐵道と云ひ信濃鐵道と云ひ越後鐵道と云ひ水戸鐵道と云ひ兩毛鐵道と云ひ八王子鐵道と云ふなど其合計里數は無論既に一千英里を超過し居るなるべし今日の有様既に斯の如し此勢を見て後來を察するに各地敷設の計畫は今後更らに幾層の盛大を加ふるみとあらん彼の米國にて連年の間每年一萬英里内外の新道を敷設し今も尙は其速力を減ぜずなどいふ話を聞けばみを偶々日本にて一年に一二千英里のものを作りたればとて左まで驚くに足らざるやうの心地するなれども數年前までは東京横濱間神戸西京間に在る數十英里の見本鐵道を所持するのみにて十分に滿足し居たる國民が今は漸く前日の非を悟り大に奮て工事を企て其事の成否は先づ暫く問はず兎にも角にも圖畫の上丈けにても數千英里の鐵道を所持せんとするに至りたりとは實に異常の現像なりと云はざるを得ず或はこれを稱して文明進歩の駿々たるものと云ふも可ならん

然るに我輩は鐵道論の盛なるを見て國の文明の爲めに大に喜悅の情を催すと共に又一方には鐵道計畫の局に當たる資本家有志家等の擧動の聊か輕躁に涉るの跡なきかと疑はざるを得ず蓋し今の日本人は唯鐵道を喜ぶを知て未だ鐵道工事及び營業の如何なる重大事件なるかを思はざるものゝ如し今の鐵道論者の爲す所を見るに一幅の日本地圖を壁間に掛けて夫れ〳〵鐵道の新線路を相し圖中某港より某町に到るの一線路は途中に有名の山もなく又川もなく至極鐵道に適應のものと鑑定す依ては此線路に鐵道を敷設するなとゝなし其延長何百何十里工費一里に付平均何萬圓として總額何百何十萬圓なきに相當する資金を集めて何々鐵道會社と稱し直ちに政府に請願して工事の許可及び利益配當の補助保證を申受くべしと言出せば遠近の資本家これを聞傳へて相競て其株主たらんことを申込み數日にして株主滿員なり尙は後きて馳せ集まりたる者は豫約株主たるの權理を一株に付幾圓の禮金を出して先進の發起者より讓受け未だ請願委員の人撰も定まらざる内より早くも株の賣買を始むるなど滔々たる鐵道社會の事皆然らざるはなきが如し竊に案ずるに日本全國數年來の不景氣資本家は皆其資本の下すべき所なきに苦しみ纔かに公債證書に依賴して一時の命脈を維持したりといへども此公債證書とても追々年五分低利の證書に引換へらるゝて頼む木蔭に雨の漏る心地なければ今は據なく勇を皷して四方を眺むるに無爲徒然の資本を下す爲めには最大屈強の事業と稱すべき鐵道の在るあり其收益の多少は固より俄かに知るべからずといへども異邊に年四五分の利に廻はらざる程の事はあるまじとて漸く皆鐵道に心を傾け好線路を相して先取りの權を占めんとする者陸續各地に現はれ出るよりして忽ち全國の流行を成し今は單に鐵道の名さへあれば其名に附屬する無形の株を一株幾圓に賣買するまでの勢を成すに至りしことならん實に驚かざるを得ざるなり然るに愛に鐵道論者の一考を煩はさんと欲するの事は幸にして資本金は集まりたるが如何に此金の形を變じて鐵道と爲すを得るか又既に鐵道と爲したる後如何にして鐵道の營業を爲すを得るかといふに在り唯金さへあれば鐵道は直ちに手に入るべし鐵道一たび手に入れば其業を營み利を收むるの事は辻褄の老爺尙ほ且つこれを能くすべしと信じて疑はず甚だしきは鐵道と稱するは唯會社の株金を募集するまでの事にして敷設工事とか營業事務とかいふ類の事柄は固より株主發起者等の與かり知るを要せざる所なりとて最初より曾て心頭に掛けざる者も多からんかと疑はるゝまでの有様なるは甚だ不審なり目下日本には鐵道技術師甚だ乏しく鐵道局に奉仕する官吏を除くの外其人なしといふも可ならん然るに鐵道局にては東海道鐵道と云ひ東北鐵道と云ひ急を要する工事甚だ繁多にして爲めに局内の技術師に不足を告げ自家の工事さへ尙ほ且つ十分に手廻はらず此上他人の工事を手傳はん抔とは思ひも寄らざる有様なりといへり左すれば今新たに敷設せんとするものは是非とも其技術師を外國に求めざるべからざる譯なるが今の鐵道論者にして果して外國技術師聘用の成案を得たる者あるや如何或は其成案ありとするも僅々數十英里の鐵道を敷設するが爲めに新たに外國技術師の隊伍を組織し新たに工場を打立てゝ斯くて一旦鐵道成るの後營業上收支相償て餘あるの豫算あるや如何、鐵道を支配する事の六ヶ敷は士族保護の國立銀行を支配するの比にあらず必ずや天下第一流の才能を要すべし一縣一郡の資産家名望家なりとて文明に緣薄き人物にては其用を爲さんこと甚だ覺束なし果して適任の當務者あるや如何、數縣聯合して一線の鐵道を敷設せんとし追て社長支配人等撰任の場合に當り各縣皆其好む所の人を擧げんと欲して議調はず遂に其社を解くか否らざれば一社に社長三名支配人三名を置て一時の和合を謀るなどいふ奇觀を呈するの恐なきや如何我輩の甚だ掛念する所なり鐵道は文明の要具なり鐵道を造るは甚だ善し今の日本に鐵道論の盛なるは甚だ我輩の喜ぶ所なりといへども唯世人が今少しく鐵道の事に注意して其眞面目を窺ひ鐵道を誤解誤用して後日自他の迷惑を釀すが如き失策なからんこと我輩の特に希望する所なり

雜報

○太平洋の新航路　英領加奈陀ワンクーヴァーと支那日本間の定期航海を業とせる太平洋汽船會社創立のことにつきてはしば〳〵本紙上に記載せしが近着のチャイナ　メール紙は加奈陀事務局長サー　チャールス　チュッパー氏が英國政府はワンクーヴァー　支那日本間の汽船會社に郵便運輸の補助金として年々十萬磅を與ふべしと公言したりとの二月六日倫敦發の電報に就き評を下して斯の如き公言は太平洋の新航路のことにつきもつとも確然たる公言にして我れ〳〵のはじめて聞くところなるが蓋し加奈陀の總理大臣マクドナルド氏が英國は總理大臣ソールスベリー侯は太平洋新航路の補助金下附につき同氏の說を贊成したりとの演說をなしたるは世人のすでに知悉する所なればチュッパー氏の此公言は英國の總理大臣の訓令に出で且つ補助金下附のことは英國内閣の承諾する所となりたるは疑を容るべからず原來此事につきソールスベリー侯は前年の在職中マクドナルド氏の說を贊成し親しく內閣員に謀りて頻りに盡力したりしが其際に丁度內閣の交迭ありて總理大臣の職を辭したれども其の目的を達する能はざりしされば侯の期望は今日と雖も決して挫折することなきは明白なるべし又此電報は英國の內地及び東洋の英商は勿論加奈陀太平洋鐵道の發起者は非常に滿足する事ならんが斯く保護を加へらる上十二週間每に香港及日本よりワンクーヴァーへ航海を始め間々其一週間每に發船の計畫をなし新に新形の汽船を買ひ込み戰時には政に軍艦に轉用し武器具兵隊をも運搬する都合なる由にて太平洋鐵道會社は郵便運賃の直下を申出でゝ實際は英國政府の定めに任するとの事なれば英國リバープール及び加奈陀香港間に於ける商賣上の利益は勿論一旦事あるの日に當り其便利は甚しき事なるべし云々と論じたり又桑港二月廿一日發の私信なりとてガゼット新聞に記載する所を見るに英領加奈陀太平洋鐵道會社は愈々英國のキューナルド汽船會社と約束を結びたるにつき同汽船會社は其持船中にて新造の汽船三隻を太平洋の新航路に向けニウ　ウエストミニストル（加奈陀の太平洋に面せる港）横濱及び香港の間に定期航海を開くことに決したり又上海より茶の荷物を此の鐵道に廻さんが爲に鐵道會社は印度支那汽船會社とも氣脈を通じたれば其汽船にて上海より横濱まで送り横濱にてキューナルドの汽船に積移を手續となすべし扨キューナルドの會社より此航路に向る汽船はボスニア號ガリア號スキシア號の三隻にて多分四月一日頃には蘇西運河を踰るべき筈なりと云へば其支那に着する頃は恰も新茶荷出の時候なるべし此三隻の汽船は何れも五千噸の載量にて速力は平均十三節乃至十四節なれば横濱よりニウ　ウエストミニストル港まで十二日乃至十四日にて到着すべし夫より加奈陀鐵道を經て再びモントリールにて船積する迄には支那を發して凡そ三十日目なるべし尤も此の汽船には加奈陀政府より航海補助費を與へて歐洲及び米國への郵便物を積ましむべし云々となり

○大坂府民間の狀況　大坂の本社通信員より同市中四區は民間狀況に就き本社に申越たる通信の大意に一般商業の不景氣は昨年に至りて最も甚だしく昨年々末より本年々初にかけて漸く恢復の樣子ありしも其實は昨年の農作が非常に上出來の見込ありしが爲めにして實際は左まで上出來ならざりしに付今日となりては亦漸く不景氣に陷いるの傾向あるが如し今、大工左官などの賃銀を見るに明治十八年には大工一日賃銀四十錢、左官四十錢なりしが十九年には下落して各三十五錢となり本年は大工賃銀に左まで變動なけれども左官賃銀は下落して三十二錢となれり斯く賃銀が漸く下落すると同時に其仕事甚だ少なく下等社會の困難は一方ならず故に下等社會は人々が質を置て當座を凌ぐこと甚だ多きも受出の期限來るに及んで之を受出すこと能はず爲めに流れ質少なからざれば質屋營業の戶數漸く減少するの傾向あり即ち明治十八年に開業七十七戶廢業二百十七戶、十九年に開業百五戶廢業百七十三戶ありしと亦以て下等社會の狀況如何を證すべきなり酒造石高は明治十八年は其前年より增加したれども十九年は減少して再び昔の如く本年は又增加せりこれ大坂は釀酒が各地方に賣捌けるを目當に增加したる者なれども其小賣高を見れば年一年に減少するが如し即ち明治十八年には小賣酒高二萬五千二百石、十九年には一萬七千七百石、本年は一萬五千五百石を小賣するの見込なりと云ふ是亦以て社會一般の不景氣なるを知るべきなり料理店芝居興行物抔は本年に入りて景氣を恢復せしが如きの樣子なりしは昨年々末より本年々初にかけて景氣稍々上向なりしと近來鐵道工事と云ひ天皇行幸と云ひ兎角旅客を增加せるの事實あるとに由るならん國稅及び地方稅を上納せずして公賣處分を受けたる者は明治十八年度に四千五百廿三戶、十九年度に今日まで二千七百三十戶年度の終までには倘僅に增加すべしと云ふ右の如く二三事物に就て民間の狀況を考ふるに本年

の景氣は昨年と左
利に就きて考ふる
の甚だ緩慢なるは
證とするに足るもの
に左の如し

公債抵當にて
百圓以上
千圓未滿
千圓以上
萬圓未滿
地券抵當にて
百圓以上
千圓未滿　一割
千圓以上
萬圓未滿

かく金利の下落す
い關西の大都にな
るに其民間の狀況
劣らざると推知す

○米國桑港通信
在留日本人と支那
箇所あり孰れも此
加することなるで
人の普く知る通人
前に既に此地に來
は其數拾萬以上な
あらは支那人の僑
人放逐論の實行を
日本人中單に此地
る位にて忽ちに東
潔無氣力の人間
も當地の內情を探
莫大の勢力を有す
金錢出入の中心と
て其景況と一見す
入て其擧動の優
て郵便局に至ら
り皆支那商人の
明なるは仲買の店
文字あり銀行は帳
尙は驚くべきは其
そることと是なり
て英米人は賤む所
ものなれども支那
き當地商人として
茲に小生が讀者
故にかく支那人
るに至るやの
白人と商工業上
人の知る通り生計
人中如何なる下等
を有するものなく
立行かざるべし然
多くも五六弗に
白人に比して一
一は或大學校に
那人と見るに同
弗の貯金をも有
海の途中横濱に
二子編にて調製
のみならず時々
するの甚だしき
計に消費すると
爭ふ大なる便利
るにも及ばざる
大に彼等を補助
べし
凡そ外國を去りて
となり支那人は
智無學赤貧洗ふ
費だも用意する
那人が容易に五十

大學通俗講談會第一回 廣告
來ル三月廿六日午後七時ヨリ一ツ橋外第一高等中學校構內帝國大學講義室ニ於テ開會
自殺法ノ話　穗積陳重
[illegible]

一當銀行株式五百株　華族從五位子爵脇坂安斐所有ノ分
一同　百四十九株　華族從五位子爵大久保忠順所有ノ分
右ハ今般世襲財產ト爲シ度旨願出候趣宮內大臣ヨリ被[illegible]ハ來ル四月二十二日迄ニ當銀行ヘ申

陸軍一等軍醫正　足立寛先生譯
彪氏外科各論　卷之九　腹部諸病編　卷之十　圖入定價一圓　稍出
右發兌ニ付此段廣告仕候也
東京馬喰町二丁目五番地

拙者今回東京神
丁目十
設ケ內外